

# 病院機能評価

人や環境にやさしく 安全性キメ細かな配慮



病院機能評価は、厚生労働省、日本医師会の外郭団体である財団法人「日本医療機能評価機構」が、第三者の立場で病院の機能を評価し、あらゆる角度から一定の基準を満たしている場合に限り認定証が交付されます。評価項目には中立・公平な目で、▽病院の地域での役割▽治療の質の向上▽患者様の安全▽サービスの充実▽適切な看護▽病院運営—などを総合的に判定し、病院のレベルアップを支援します。認定を受けた病院では、審査をきっかけに、病院の運営面での意識改革が進むと同時に、現場での治療技術の向上、職員の患者様へのサービスの改善が進展しています。この制度と、病院をランク付けするものではありませんが、患者様が病院を選択する時、医療サービス、療養環境、病院経営などの面で、一定の水準をクリアしているかどうかを判断する有効な材料となります。医療環境の変化に伴い、最近では医療事故の防止や医療情報の管理と活用に力点が置かれ、患者様の権利の尊重や病状、治療法の十分な説明と同意(インフォームドコンセント)が可能な体制にあるかを問い、医療の安全性にきめ細かな配慮が必要になっています。現在、全国で約七百件の病院が認定を受け、全病院数で見ると8%弱の水準ですが、年々、病院の関心が高まっていることから、今後、認定希望病院は増えるものと考えられます。認定の利点としては、ハード面で、患者様の高齢化に伴うバリアフリーの進展があります。院内の案内標識をわかりやすく色彩別にしたたり、大きな目印に変えるなど、利用者への配慮、情報公開による患者様への確実・親切・繰り返しの情報提供サービスを行うこと。ソフト面では、外部講師を招いての接遇研修、医の倫理教育の徹底などにより、職員やドクターも含めての意識改革が行われることなどです。どの病院でも、準備に相当期間をかけますが、認定取得後は、病院職員が一つにまとまり、職員の自覚・意識の向上、院内組織活動の円滑化、医療・看護の質の向上、そして、なにより患者様への関心が高まり病院全体の機能が向上したと考えます。患者様からも、病院の雰囲気や患者様への声かけなど、大変明るくなったと好評です。今後、医療サービスの改善に取り組む姿勢は、地域や患者様にとって有益であることを認識し、また、人や環境にやさしい病院として、地域社会に貢献していくことも責務として、認定病院であり続ける責任感の継続が重要と考えます。